

人間の音声情報処理メカニズムと その技術実現の歩み

Development of Speech Technology with Understanding of Human Mechanism



党 建武

情報科学研究科

2008 9/29 12:40 – 13:20

知識科学研究科講義棟 1Fエントランスホール



人間情報処理

言葉を使って自由にコミュニケーションできる機械を創るのが我々人間の夢の一つである。200年ほど前から人間の発話機構を真似て音声生成の試みをしてから、音声情報処理技術は、機械や電子およびコンピュータなどの時代を経て、今日にやってきた。振りかえてみると、音声処理技術は人間のメカニズムを理解すると共に発展してきたことが分かる。

本講演では、音声科学の研究史を再吟味しながら、音声処理技術の発展過程を解説する。デジタル時代に入ってから、音声処理技術は大いに発展され、さまざまな音声合成・音声認識の装置がわれわれの生活に滲んで来た。しかしながら、それらの装置の機能は人間の音声処理の能力に比較できないほどの差がある。ここで、もう一度われわれ人間の音声情報処理のメカニズムを考察しながら、未来の技術の開発について検討する。



The slide will be in English. Foreign audience are welcome!



エントランスホールは
知識講義棟1F、中講義室の真下
学生課前の階段を下りた先です

学内連携セミナーは、JAISTで行われている研究の知識共有を目指しています。専門家以外も楽しめるセミナーを行いますので、ぜひ講師以外の研究科の方もご来聴下さい。

世話人：鶴木、小矢野、橋本、戸田、寺倉